

仕事で中国や台湾などのアジア諸国を頻繁に訪れているが、そのたびに感じるのは建設工事の多さである。これに懐かしさを感じるのは、かつての日本もそうであったからであろう。

そこで今回は、セメント需要(=建設投資)の観点から、アジア主要国が何年前の日本に相当するか探っていこう。

最初に、2004年現在の各国・地域(日本: JP、シンガポール: SG、台湾: TW、韓国: KR、マレーシア: MY、タイ: TH、中国: CN、インドネシア: ID、ベトナム: VN、香港: HK、フィリピン: PH、インド: IN)における一人当たりの年間セメント消費量または累積セメント消費量と、わが国の推移を重ねてみよう(図-1)。考えてみれば当たり前のことであるが、ほぼわが国の軌跡上に位置している国(マレーシア、中国、インドネシア、インド)と、位置していない国がある。位置していない国のなかでは、わが国の軌跡の上、すなわち累積消費



Joker **2**号 大内雅博の

当たらずとも
いえども
遠からず 連載

正会員 編集委員 大内雅博 OUCHI Masahiro (高知工科大学准教授)

量に比して年間消費量が多い国(台湾、シンガポール、韓国、ベトナム)と、軌跡の下、すなわち累積消費量に比して年間消費量が少ない国(香港、タイ、フィリピン)とに分かれているのが興味深い。もちろん、これらの国々の軌跡がわが国の変遷と相似形(?)であるとは限らず、あくまでも2004年時点での区分ということになるが。

いずれにせよ、累積消費量で比較するか年間消費量で比較するかによってわが国の何年前に相当するかは変わってくるし、そもそも、わが国が経験したこ

とのないほど大きい年間消費量の国(現在の韓国、およびかつての台湾やシンガポール)では、年間消費量での比較すらできないことになってしまう。

ここで見方を変えて、各国・地域の一人当たりのセメント消費量の増加の仕方から、わが国の変遷との関係を探っていこう。縦軸を対数目盛りとして、一人当たりのセメント消費量の変遷を表してみた(図-2)。線の傾きが増加率となるが、結構平行な線が引けそうだということに気がつく。セメント消費量が増え始めると、増加率は各国間で同じような値

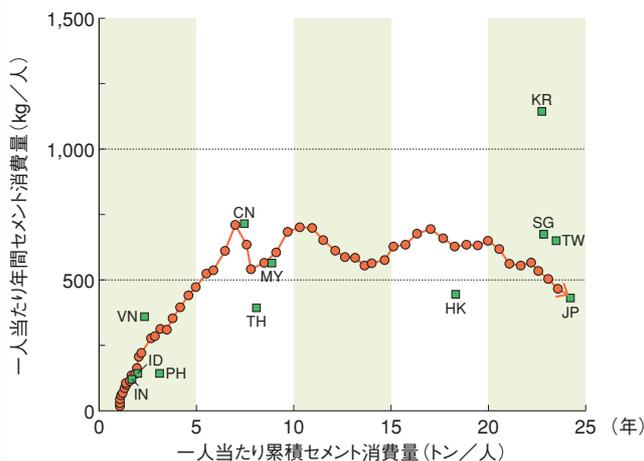


図-1 わが国の一人当たり累積および年間セメント消費量の変遷(1947~2004年)と2004年現在の各国・地域の値【セメントの累積消費量は1920~1938年、1947~2004年の合計を2004年の人口で割った値】

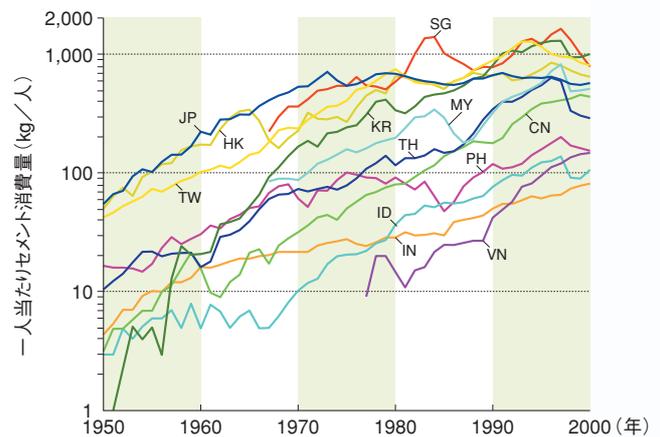


図-2 アジア主要国・地域の一人当たりセメント消費量の変遷(1950~2000年)

第 14 回

アジア諸国は何年前の日本？

になるということか。これは参考文献をもとにした見解である。

図-2 ではわかりにくいので、わが国を含んで平行に線を引くことのできそうな国々のみを集めたのが図-3 である。一人当たりのセメント消費量 10 kg 程度で建設需要に火がつき、おおよそ年間 1 割強の増加率となっている。火がつき始めると増え方はほぼ同じということか。いずれにせよ、増加率が同じということは、対数グラフ上の平行線の間隔がそのままわが国との年数の差ということになる。大雑把な読み取りでは、シンガポ

ル：3年、台湾：7年、韓国：15年、マレーシア：20年、中国：30年、インドネシア：40年、ベトナム：45年の差でわが国を追いかけている、あるいは追いかけていたということになるのか。

ただし、一人当たりセメント消費量 700 kg 程度から先の変遷は国によって大きく異なっている。わが国のようにこの値で天井を打った国もあれば、シンガポール、台湾、韓国のように 1,000kg を超えてしまった国もある。現在 700kg を少し超えたところの中国の今後の動向が大いに気になるところである。

一方、これに当てはまらない国・地域もある。香港、タイ、フィリピンとインドである(図-4)。香港は当初増加率が図-3 に示した国々並みであったが 1966 年に失速、その後低調な回復・増加率のままである。タイは 1967 年に一度失速し、年率 10% 台の増加と失速を繰り返している。フィリピンとインドはこの 50 年間、低い増加率のまま推移してきた。インドの平均増加率は 7% 程度。図-3 の国々の半分程度推移してきた。ただし、この増加率を 50 年間ずっと維持している安定ぶりには目を見張るものがある。「インドは急がない」を統計の上から垣間見たことになる。「インドは急がない、でも、後退もしない」と付け加えたくなくなる。

参考文献

1) 板倉聖宣：日本史再発見一理系の視点から、朝日選書、1993

データ出典

CEMBUREAU: World Cement Market in Figures 1913/1995

(資料提供：(株)セメント新聞社)

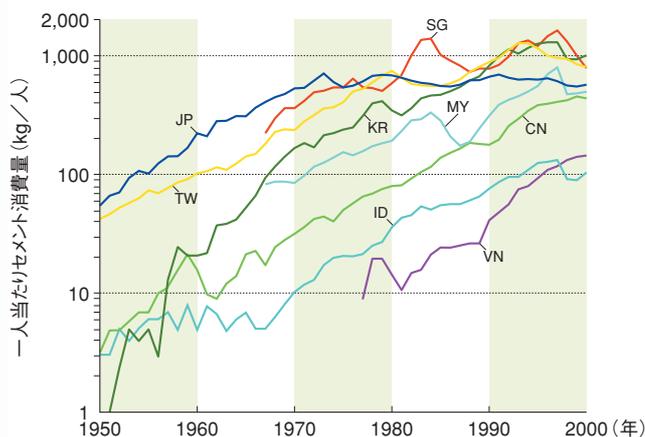


図-3 年率 1 割強でセメント消費量が増加したアジア主要国

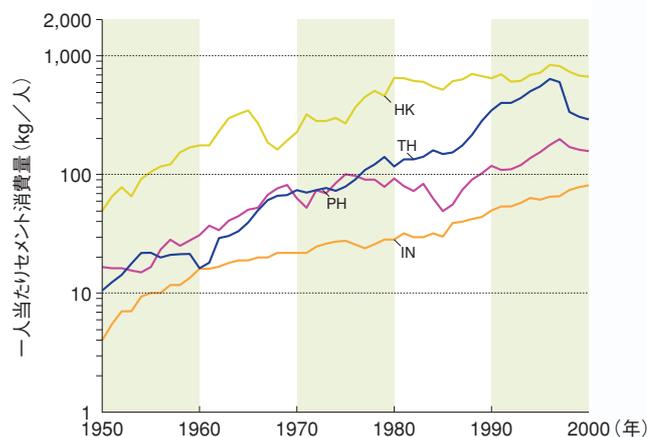


図-4 セメント消費量の増加率の比較的小さい国々

(キャラクター&外枠デザイン：宇野洋志城)